

I 第39週の発生動向 (2016/9/26~2016/10/2)

1. 警報・注意報は、発令されていません。
2. インフルエンザの患者報告数は1人で、迅速診断キットによる型別はA型でした。
3. RSウイルス感染症は、県全体では、前週は患者報告数が減少しましたが、再び増加しました。特に、上十三保健所管内では、患者報告数が2人から9人に増加しました。
4. ヘルパンギーナは、県全体では、第37週から患者報告数の減少が続いていましたが、再び増加しました。五所川原保健所、上十三保健所管内を除く保健所管内で増加しました。
5. マイコプラズマ肺炎は、八戸保健所、むつ保健所管内で患者報告数の増加が続いています。

II 第39週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															
インフルエンザ			1	0.07									1	0.02	1
RSウイルス感染症	10	1.25	13	1.44	15	1.50	6	1.20	9	1.50	7	1.75	60	1.43	5
咽頭結膜熱															-2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.50	12	1.33	28	2.80	2	0.40	2	0.33	6	1.50	54	1.29	26
感染性胃腸炎	35	4.38	5	0.56	15	1.50	5	1.00	5	0.83	5	1.25	70	1.67	2
水痘					1	0.10	1	0.20			2	0.50	4	0.10	-4
手足口病	3	0.38	11	1.22	2	0.20	1	0.20	2	0.33			19	0.45	7
伝染性紅斑	7	0.88											7	0.17	0
突発性発しん	1	0.13	1	0.11	8	0.80			1	0.17			11	0.26	-6
百日咳															0
ヘルパンギーナ	19	2.38	14	1.56	19	1.90	2	0.40	11	1.83	9	2.25	74	1.76	8
流行性耳下腺炎	9	1.13									1	0.25	10	0.24	-2
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎	2	1.00			2	1.00	1	1.00					5	0.45	0
基幹															
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															-1
マイコプラズマ肺炎					4	4.00					10	10.00	14	2.33	2
無菌性髄膜炎							1	1.00					1	0.17	1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-1

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

RSウイルス感染症 (五類定点把握疾患)

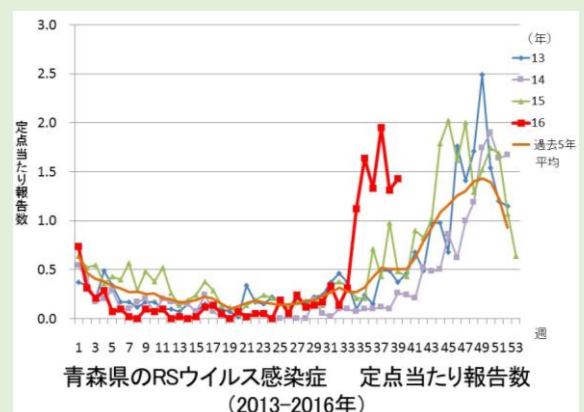
RSウイルス感染症は、RSウイルス感染による呼吸器の感染症です。感染してから2~8日、典型的には4~6日間の潜伏期間を経て、発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスの初期感染を受けるといわれています。**乳児期早期**(生後数週間~数カ月間)にRSウイルスに**初感染**した場合は細気管支炎、肺炎など**重症化**することがあるので**注意**が必要です。

全国的には、夏期は報告数が少ない状態が続いていましたが、2011年以降、7月頃から報告数の増加が見られ、今年も第33週(8/15~8/21)以降増加が続き、38週には僅かに減少したものの報告数が多い状態が続いています。

青森県内でも、第33週から増加傾向で推移し、第38週には減少しましたが、第39週には再び増加したため、今後の発生動向に注意が必要です(図)。

RSウイルス感染症は、感染している人の咳やくしゃみのしぶきを吸い込んだり、感染している人やウイルスが付いている物品に接触することによって感染します。**予防**のためには、0~1歳児に接するときは**マスクを着用**し、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコール等で**消毒**し、流水・石鹸による手洗い又はアルコール製剤による**手指衛生を励行**しましょう。

○詳しくはこちらをご覧ください [厚生労働省HP \(RSウイルス感染症 Q&A\)](#)



Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：東地方+青森市4人、弘前1人、八戸1人、上十三2人 (2016年計:224人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：弘前1人、八戸1人 (2016年計:15人)

Ⅳ 病原体検出情報

検出情報はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2016年第36週～2016年第39週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
36	H28.9.5 ~ H28.9.11		梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症3人			カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人
37	H28.9.12 ~ H28.9.18		レジオネラ症1人 梅毒1人				アメーバ赤痢1人
38	H28.9.19 ~ H28.9.25		梅毒1人		レジオネラ症1人		
39	H28.9.26 ~ H28.10.2		梅毒1人	梅毒1人			

Ⅵ 結核(二類全数把握疾患) (2016年第36週～2016年第39週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
36	H28.9.5 ~ H28.9.11	2	2	2	1	1	
37	H28.9.12 ~ H28.9.18	2	1	3		2	
38	H28.9.19 ~ H28.9.25		2	1	1		
39	H28.9.26 ~ H28.10.2	4	1	1		2	

Ⅶ 全数把握疾患発生状況 (全国-青森県) (注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第38週累計)

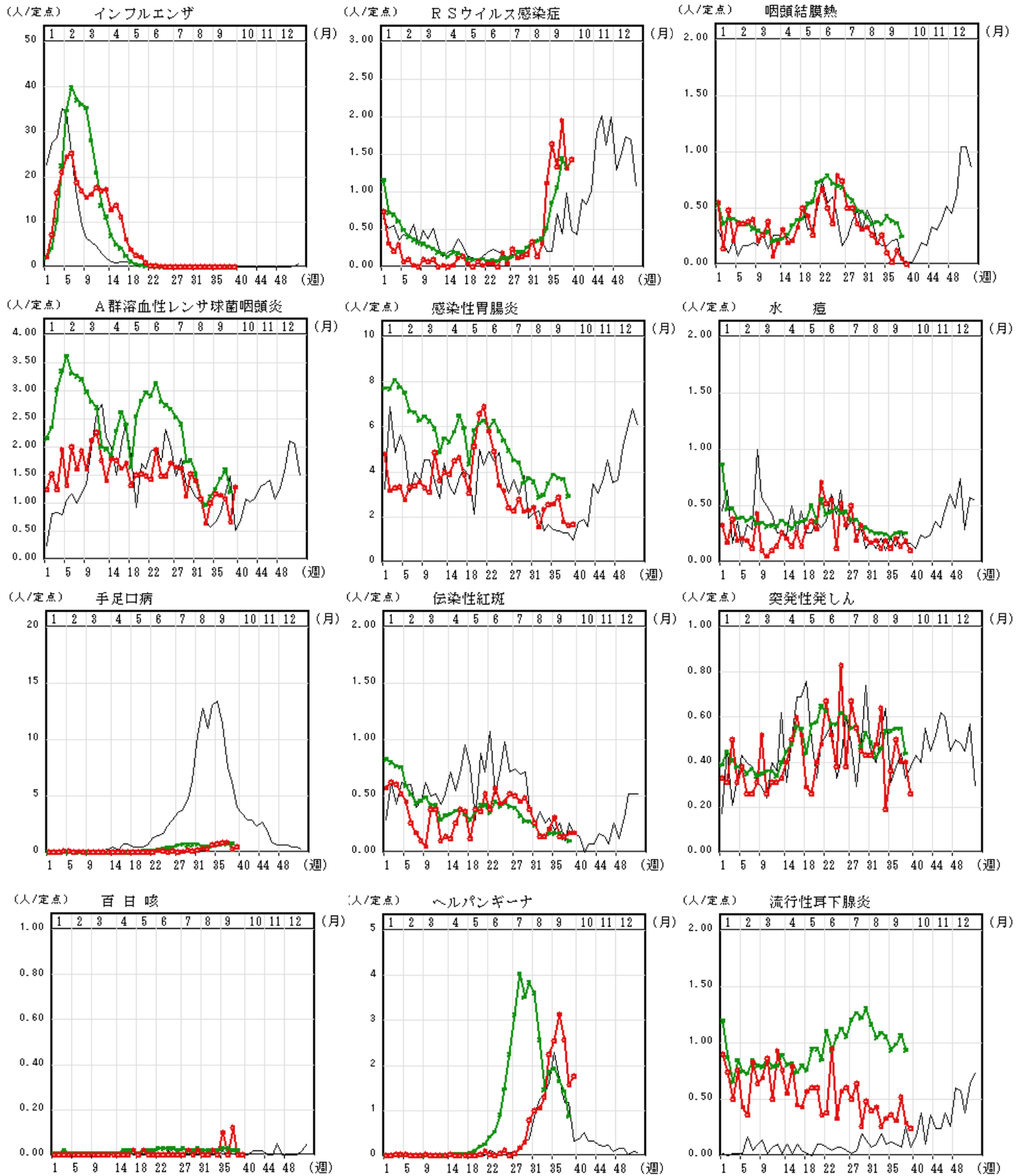
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	17467	7	96	2831	37	13	299	221	14	5
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回歸熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	7	3	9	46	1	9	94	272	160	2
分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	3	40	6	1054	48	848	199	1072	604	11
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クローイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	131	373	1041	50	232	34	1923	219	3188	90
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症					
累積報告数	93	40	104	114	29					

青森県 (2016年第1週～第39週累計)

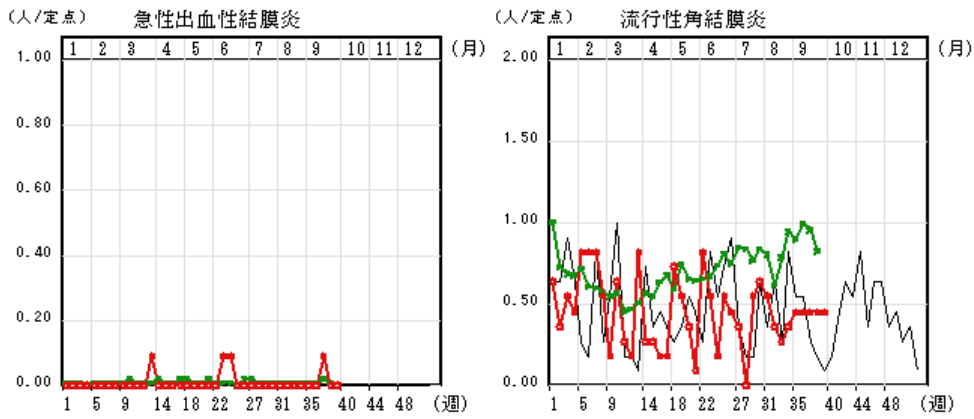
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	クリプトスポリジウム症
累積報告数	224	89	5	3	1	5	5	3	10	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クローイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒				
累積報告数	3	3	2	7	3	15				

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第39週、ただし全国は前週)

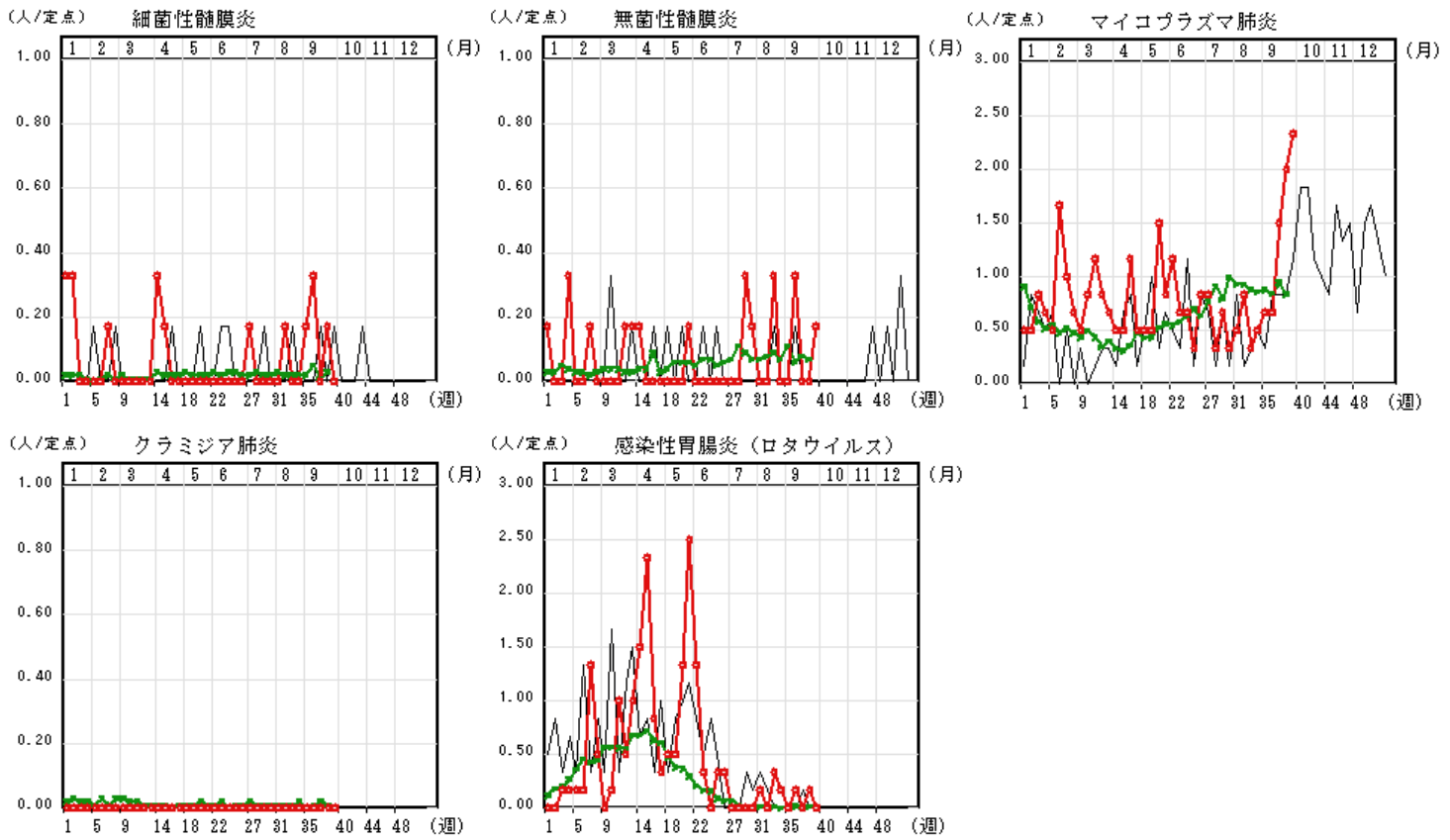
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第39週、ただし全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第39週、ただし全国は前週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第39週
報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	5
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	16
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	308